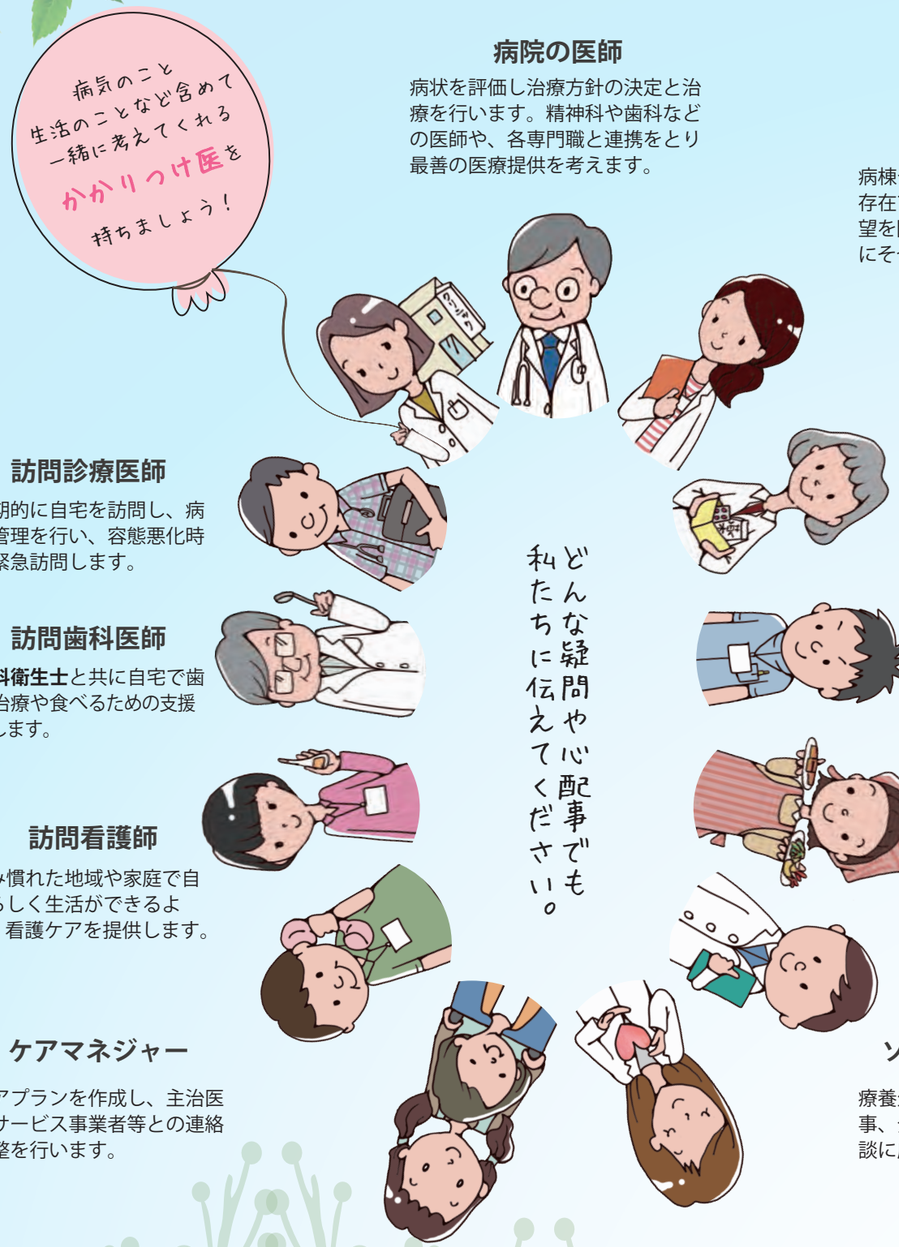
暮らしの中の医療のカタチ
支える人々

あなたの周りには、たくさんの専門家がいます。
あなたが求めている支援を適切に受けるために、
心強いサポーターをみつけましょう！



病院の医師

病状を評価し治療方針の決定と治療を行います。精神科や歯科などの医師や、各専門職と連携をとり最善の医療提供を考えます。

看護師

病棟や外来であなたの一番身近な存在です。治療や療養に関する希望を聞き取り、病状や心身の状況にそったケアを提供します。

薬剤師 / 訪問薬剤師

医薬品を適正かつ安全に使用できるよう管理し、副作用を極力回避できる選択や工夫を行います。
医師や訪問看護師等と連携をとりながら、在宅での治療を支えます。

訪問診療医師

定期的に自宅を訪問し、病状管理を行い、容態悪化時に緊急訪問します。

訪問歯科医師

歯科衛生士と共に自宅で歯科治療や食べるための支援をします。

リハビリ専門職

病院や自宅で身体機能の障害に合わせてリハビリの専門職が機能の維持や回復を目指します。

訪問看護師

住み慣れた地域や家庭で自分らしく生活ができるよう、看護ケアを提供します。

管理栄養士

栄養状態を把握し問題があれば、食事療法を中心に調理法や食事の形態等の工夫を行います。

ケアマネジャー

ケアプランを作成し、主治医やサービス事業者等との連絡調整を行います。

ソーシャルワーカー

療養生活上の不安、医療費、仕事、介護・福祉サービス等の相談に応じます。

ヘルパー

日常生活に支障のある高齢者や障害者の家庭に訪問し家事サービスや身体の介護を提供します。

臨床心理士

こころの問題に寄り添い、カウンセリングなどを通して、支援します。

暮らしの中の医療のカタチ
医師編

あなたが住む地域の医療機関は、一見同じように見えても、それぞれが違う役割を持っています。そして医師の診療の仕方も異なります。その違いを知って、あなたの体調に合う医療機関を選択しましょう。

クリニック

往診なし 普段、体調変化の際に受診する医療機関

往診あり 診察時間の合間に往診を行う医療機関

かかりつけ医

訪問診療 / 在宅療養支援診療所

訪問診療 定期的、または緊急時に訪問する医療機関

在宅療養支援診療所 24 時間 365 日で対応する医療機関

急性期病院

上の医療機関からの紹介により治療を提供する医療機関
もしくは、救急を要する患者を受け入れる医療機関

急性期病院

急性期病院の治療後は、紹介元の病院やお住まいの近くの医療機関で経過を診てもらいます。

２人主治医制

急性期病院での治療を終えた後も、定期検査や入院治療に対応できるよう
住まいの近くの病院と急性期病院が連携します。
このような連携を図る体制を **２人主治医制**と言います。

住まいの近くの
かかりつけ医

急性期病院

必要時に連携